

贈りたい 大賞

—大切な人に贈りたい1冊—

大賞受賞作

平成30年度 やまなし読書活動促進事業

音楽や映画は、大勢の人と一緒に楽しむことができます。テレビもスポーツ観戦も、友だちと一緒に楽しむことができます。ところが、読書だけは、一人だけのことです。それが読書の良さでもあります。一人で読んでいたのでは、ほんとうに本を分かったことになるでしょうか。大好きなあの方は、この本を読んだらどんなことを考えるのだろう。同じ本を読んでもらいたい。そうすれば、その本のことが深くわかるだけでなく、その人のことがもっと分かり合えるようになるのではないのでしょうか。

山梨県立図書館 館長 金田一秀穂



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/> 平成30年11月7日発行

大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。
愛する人へ、大切な家族へ、可愛い孫へ、かけがえのない友へ……。
もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、
どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 5,654 点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。
さまざまな想いを、ありがとうございました。



おともだちへ

加藤優亜さん（長坂小学校）

『おいしそうなしろくま』 柴田ケイコ／作・絵 PHP 研究所

わたしは、この本を大すきなおともだちにおくりたいです。なぜなら、くいしんぼうのしろくまがいろいろなたべものに入る絵がおもしろいからです。とくにおにくがすきなおともだちに、「にくまん」のページをおすすめしたいです。わたしのすきな「すし」のページもぜひ見てね。そして、どのネタがすきかおしえてください！



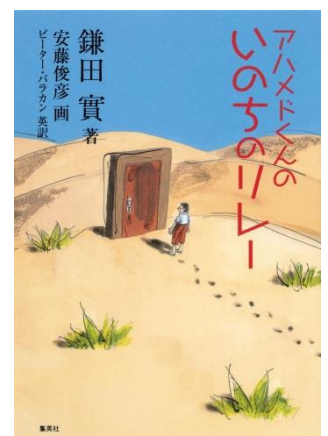
留学を目指して努力している友人へ

萩原結花さん（山梨大学教育学部附属中学校）

『アハメドくんのいのちのリレー』

鎌田實／著 ピーター・バラカン／英訳 集英社

私には留学を目指して努力している友人がいる。そんな彼女に、この本を届けたい。真の優しさに差別や国境はなく、互いの境遇に違いが大きくても、支え合って生きていくことができるのだと伝えエールを送りたいからだ。この本のような、人種や信教の壁を越えた「繋がり」という宝物を友人が得られるように応援している。



祖父へ

立川奏太さん（甲府西高等学校）

『おじいちゃんのごくらくごくらく』

西本鶏介／作 長谷川義史／絵 鈴木出版

まだ小学校低学年のころ、私が図書館からこの本を借りてくると、祖父は何度も読み聞かせてくれました。絵本に登場するおじいちゃんと孫のまねをして「ごくらくごくらく。」と言いながら二人で風呂に浸ったあの日々を覚えていますか。もう一度二人で読みたいです。温泉に連れて行きたいから、僕が大人になるまで、元気でいてね。



今の生活から逃げ出したいと思っている人へ

森澤ひろかさん（甲府南高等学校）

『世界で一番いのちの短い国～シエラレオネの国境なき医師団～』 山本敏晴／著 白水社

毎日を当たり前のように生きている事がどれだけ幸せだろう。この本に出会い深く考えさせられました。私はこの本を今の生活から逃げ出したいと思っている人に贈りたいです。世界には今も命の危機に直面している人がいるが、毎日を笑顔で過ごしています。そんな姿に勇氣と力をもらえます。この本からその勇氣が届くといいです。



白水社は絶版。小学館から文庫が出ています。

お母さんへ

平田結菜さん（甲府南高等学校）

『祈りのカルテ』 知念実希人／著 角川書店

どんな技術よりも頭のよさよりも患者さんが一番に求めている事は“心を聴いてほしい”という事。看護師である母はいつも帰りが遅いので私は一人で留守番をしている。寂しいなあなんて思っていたけど、この本を読んだら、母は患者さんの心に寄り添う仕事をしてるんだって誇りに思えた。母のように誰かの役に立ちたい。



贈りたい本大賞 優秀賞

- 向山心菜さん(白根飯野小学校)「全国にいるいじめを受けている人へ」
『マイ・ベスト・フレンド』(ジャクリーン・ウィルソン/作 童話館出版)
- 安留千世さん(上野原西中学校)「本嫌いの弟へ」『精霊の守り人』(上橋菜穂子/作 偕成社)
- 佐野匠汰さん(田富中学校)「おばあちゃんへ」『いつでも会える』(菊田まりこ/作 学習研究社)
- 高比良純音さん(竜王北中学校)「父へ」『長くつ下のピッピ』(アストリッド・リンドグレーン/作 岩波少年文庫)
- 坂本琴嶺さん(北杜高等学校)「友達へ」『思い出のとき修理します』(谷瑞恵/著 集英社文庫)
- 保坂美咲さん(北杜高等学校)「おばあちゃんへ」『おばあちゃんのおにぎり』(さだまさし/作 くもん出版)
- 望月咲希さん(甲府第一高等学校)「元気がほしい人へ」『時をかけるゆとり』(朝井リョウ/著 文春文庫)
- 内田菜々さん(甲府西高等学校)「弟へ」『チョコレートと青い空』(堀米薫/著 そうえん社)
- 青柳ゆりさん(甲府西高等学校)「あの日、いじめをしていた あなたへ」『谷川俊太郎質問箱』(谷川俊太郎/著 ほぼ日)
- 中沢咲季さん(甲府西高等学校)「幼馴染へ」『小さい“つ”が消えた日』(ステファノ・フォン・ロー/文 三修社)
- 吉田凌さん(甲府西高等学校)「母へ」『十二人の死にたい子どもたち』(冲方丁/著 文藝春秋)
- 川口日菜さん(甲府南高等学校)「スポーツが好きな人へ」『甲子園だけが高校野球ではない』(岩崎夏海/著 廣済堂出版)
- 丹澤理紗さん(甲府南高等学校)「苦しい思いをしている君へ」『1リットルの涙』(木藤亜也/著 幻冬舎文庫)
- 上野にいなさん(甲府東高等学校)「弟へ」『ずーっと ずっとだいすきだよ』(ハンス・ウィルヘルム/えとぶん 評論社)
- 中村優菜さん(甲府東高等学校)「友人へ」『たいせつなこと』(マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく フレーベル館)
- 井上奈々さん(甲府東高等学校)「祖母へ」『九十歳。何がめでたい』(佐藤愛子/著 小学館)
- 井上真歩(甲府東高等学校)「いつもがんばっている私のお母さんへ」『和菓子のアン』(坂木司/著 光文社文庫)
- 今村茉優さん(甲府昭和高等学校)「祖母へ」『西の魔女が死んだ』(梨木香歩/著 新潮文庫)
- 池田銀志朗さん(市川高等学校)「父へ」『秘境駅の謎』(「旅と鉄道」編集部/編 天夢人)
- 権守七映さん(市川高等学校)「離れて暮らす大学生の姉へ」
『僕らのごはんは明日で待ってる』(瀬尾まいこ/著 幻冬舎文庫)
- 網野美咲さん(上野原高等学校)「友人へ」『消失グラデーション』(長沢樹/著 角川文庫)
- 市川茉裕里さん(甲府商科専門学校)「将来の自分へ」
『東京タワー ～オカンとボクと、時々、オトン～』(リリー・フランキー/著 扶桑社)
- 成島勇樹さん(一般)「父へ」『いぬはてんごくで・・・』(シンシア・ライラント/作 偕成社)
- 宮下菜摘さん(一般)「母へ」『コーヒーが冷めないうちに』(川口俊和/著 サンマーク出版)
- 広瀬早理さん(一般)「子供たちへ」『だから、あなたも生きぬいて』(大平光代/著 講談社文庫)
- 星野洋子さん(一般)「高校時代からの友人へ」『赤毛のアン』(モンゴメリ/著 新潮文庫)
- 市川未奈美さん(一般)「夫へ」『本日は、お日柄もよく』(原田マハ/著 徳間文庫)

学校賞

金田一秀穂賞

南アルプス市立白根飯野小学校

上野原市立西原小学校

甲斐市立竜王北中学校

中央市立田富中学校

山梨県立韮崎工業高等学校

山梨県立甲府南高等学校

山梨県立甲府昭和高等学校

山梨県立農林高等学校

山梨県立市川高等学校

山梨県立塩山高等学校

山梨県立上野原高等学校

山梨県立富士北稜高等学校

学校法人自然学園高等学校